

# 東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10  
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

## 介護・認知症なんでも電話相談会を開催



この相談会には、東京民医連からケアマネなど8人の介護従事者や認知症の人と家族の会から2人、福祉保育労や日本医労連、自治体労働者や全国ヘルパーネットなどから22人の専門家が参加し対応しました。また、「チラシを見て電話したが、丁寧に話を聞いてくれてうれしかった。御礼を言いたい」と相談員への感謝の電話もありました。



11月11日、「介護・認知症なんでも電話相談」が全国18都県で実施され、全国で102件の相談が、その内、東京では29件の切実な相談が寄せられました。

相談では、家族介護の大変さを訴える内容が多く、特に老老介護の深刻な実態や家族介護の悩み、認知症と診断された要介護者への対応などが特徴でした。

また、相談する所がわからないなど、制度が機能していない、「介護の社会化」どころか「家族介護」が強要されている実態が浮き彫りになりました。

## 巣鴨駅前定例宣伝・署名行動



11月14日、定例の「4の日」巣鴨駅前宣伝・署名、介護相談行動を12時から約1時間行いました。

各団体からの訴えが行われる中、あいにくの雨にもかかわらず次々と50筆の署名が寄せられ、「介護保険を良く知らなかった」「制度改悪の中味をもっと知らせる

べきだ」などの声が寄せられ、介護相談も2件ありました。

この行動には、全体で32人、東京社保協からは28人（内東京土建19人）が参加しました。

次回の宣伝行動は12月14日（木）12時から巣鴨駅前で行います。

なお、11月10日にも新橋駅SL口で宣伝行動を行いました。



# 各地域・団体の取り組み

## 北区社保協



北区社保協・東京土建北支部・東京ほくと医療生協・北区労連・年金者組合などで作る北区「なんでも相談会」実行委員会は、定例「なんでも相談会」を

9月26日、10月24日に開催し、9月26日は12人、10月24日に6人の相談がありました。

寄せられた相談は、「保険証なし、住所不定、お金が無いという50代の元自衛官だったというホームレスの方が知人の紹介で相談にみえ、浮腫もあり心臓が苦しいと訴えてきました。王子生協病院の無料低額診療をすすめると、そんな病院があるのかと言葉を詰まらせ、翌日入院につながった」「母が認知症になり介護することになった。そして、仕事を辞めざるをえなくなり、無職で貯金も無くなり、今後の不安がある」「89歳の母親が独り暮らしで認知があり、施設やデイサービスを進めるが嫌がり、1年間悩んでいた。年金は毎月3.5万円しかなく、生活保護の申請用紙がきたが、書き方がわからない。」というものでした。その他相談にはつながらなかったものの「介護離職から貧困になってしまったという60代男性」の方もありました。



この「相談会」は、20人を超える相談員と要員が参加して、毎月開催されています。

(なんでも相談会だよりより)

## 中野社保協

中野社保協は、11月7・8日の両日に中野区との対話集会を開催しました。

1日目は、①高すぎる国保料と、②介護保険がテ-

マで、国保加入世帯の平均所得がこの2年間で10万3千円減り133万円台になるなど、国保加入者の貧困化の実態を明らかにさせました。



その上で、国保の都道府県化で1.25倍上がると試算されている中野区の国保料について、区独自の法定外繰入金への投入の努力を強く求めました。あわせて、介護労働者の処遇改善をもとめました。

2日目は、③貧困問題と④青年要求です。対話では、高齢者だけでなく40～50代の生活保護受給人数が増えている実態を示させ、現役世代を支える総合的な対策を求めました。

また、中野区の教育大綱に「子どもの貧困の視点」が入っていないとその姿勢を問い、社会的はく奪の視点も盛り込み、見えずらい子どもの貧困を総合的に把握した東京都の子ども生活実態調査を中野区でも実施するよう求めました。



就学援助「入学準備金」の入学前年度支給を求めた対話では、中学校入学式のための制服などに数万円かかるため、費用を貯めるために小学校卒業式の服装は手作りし、また、食費を切り詰めた低所得世帯の母親の事例を紹介し、支給を強く求めました。

また、青年の家賃補助、奨学金返済への支給などでも対話を行いました。

対話を通じた成果としては、小田原市の生活保護担当職員が「福祉なめんな」と書かれたジャンパーを着て利用世帯を訪問していた問題を受け、中野区として新任研修等でケースワーカーからの対応にスティグマが生じないように注意喚起することを確認させました。また、権利としての生活保護制度が判りやすく伝わるよう、区のホームページの改善を約束させました。

(中野社保協 塚本晴彦事務局長)

# 東京民医連

## 都内各地で介護ウェブ行動

東京民医連「介護職部会」は、11月の介護ウェブ行動を都内各地で実施しました。



11月13日には、「東京民医連介護職部会」が中野駅北口で署名・宣伝行動を行い、介護職員30人が結集し、1時間程で100筆の署名を集めることができました。通行人の方との対話が弾み、介護職員の「一人の高齢者も泣かせない」という熱い情熱が伝わってくる宣伝行動でした。



11月16日には、三多摩ブロック介護事業部主催による介護ウェブ行動が行われ、前半で介護保険制度改革に向けた学習を行い、後半で国立駅前宣伝行動を行いました。この行動には34人が参加し、「署名宣伝行動は初めて」という方が多くいたにもかかわらず、寒い中

123筆の署名を集めました。

11月10日と17日には「いきいき福祉会」が、八王子駅北口で署名・宣伝行動を行い、合計63筆の署名を集めました。また、普段お付き合いのある約140余りの事業所と17の地域包括支援センターに、介護保険改善・介護報酬引き上げの署名用紙と要請文、「事業所・利用者からの一言」記入用紙をセットで送付しました。

(東京民医連、介護・福祉部ニュースより)

## 都民生活要求大行動



11月1日、「都民生活要求大行動」実行委員会 は、対都要請行動を行い、2018年度東京都予算についての要望を行いました。

この行動には、21組織・82人、延べ329人が参加しました。東京社保協はこの行動の中で、国保の滞納問題と介護職員の処遇改善問題などについて要望を実施しました。



## 「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）  
3000円（送料別）  
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ  
TEL03-5395-3165  
FAX03-3946-6823  
\*ホームページからも注文できます



**国保・介護運動全国交流集会**

**日時** 12月20日(水)  
10:30~16:30

**会場** 日本医療労働会館  
台東区入谷1-9-5

**内容** 学習講演 医療・介護  
報告と交流、行動提起

**主催:中央社保協**  
電話03-5808-5344

**第2回 滞納・差押全国ホットライン**

**日時** 2018年1月27日(土)  
10:00~18:00

**会場** 東京労働会館5階会議室

**電話** フリーダイヤル  
0120-110-458

全国クレサラ対策協議会  
全国クレサラ被害者連絡協議会  
中央社保協・東京社保協



**「4の日」定例宣伝行動**

- ・12月14日(木)12時~13時  
巢鴨駅前
- ・1月14日(日)11時~13時  
巢鴨地藏通り入口

**主催:東京社保協・中央社保協**

**相談活動ハンドブック**

相談活動ハンドブックを活用して相談活動を広げよう!

頒価:100円(10部以上は1部80円、10冊を超える注文は送料は東京社保協負担)

**※別途送付する注文書で申し込みを**